

広報文芸

自由律俳句

おおくさの会編集室選

あんなことこんなことあったね八十の路 茶屋 木山 輝子
 花の下友と語らい春の日に 宝谷 長尾 智恵
 外仕事は未だ寒い青春時代のアルバム広げ 神戸上 柴田 篤子
 玉ネギが芽吹いて作りすぎだねと訴える 茶屋 藤原 寿郎
 春浅く頂いたわらびの匂う寒さ 生山 渡邊 圭子
 萌え立つ春の菜の花摘んでおひたしに 茶屋 小林 道子
 豊作の予感がいっぱい咲いた谷いそぎの黄金色 茶屋 長谷川由美子

俳句

駄句駄句会編集室

山映す 田のきらめきや 穀雨なり 萩原 岡本 健三
 鮮やかに 牡丹見事に 開きけり 宮内 木村萬佐子
 山菜採り 春の野山の 呼んでいる 宮内 田邊登志美
 風そよぎ 枝先五輪 初ざくら 宮内 船越 裕子
 花冷えや むらさきやくも 走る町 矢戸 和田 淑子
 裏の桜 幾多のひとを なごませて 霞 渡邊 文照
 おもいつきり 花見会場 まわりたい 神戸上 笹間 玲子
 ふるさとは 村ワンチーム 緑もゆ 下石見 矢田貝 元

短歌

新緑を映す水面に早苗揺れ 実り豊かな秋ぞ待たるる
 晴天に田植え進みて幼苗田の 田植機かろやか青田となりぬ
 そこかしこ齢を重ね痛みおり おしどり夫婦何時まで続く
 夏日には頭に帽子水持ちて 汗かきしながらノルディックウオーク
 待ちわびし若葉山椒摘み採りて そよ風吹くや鼻腔に香るる

湯河 山田 司郎
 下石見 浅川 三郎
 下石見 浅川 三郎
 上石見 福田 輝之
 上石見 福田 輝之

広報にちなんでは、みなさんから投稿のあった俳句・短歌をご紹介します。
 個人での投稿もできますので、お気軽にお送りください。



「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意思を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えています。日南町手話サークルでは、1ヶ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

6月の日程

4日(日)・18日(日)14時～15時30分
 場所：文化センター第3会議室

【問合せ】

石田由香里(08030529933)
 浅野 博美(09097341887)

「釣り」



両手の人指し指を前後に置き、指先を同時に上げる。

「水・水曜日」

「川・河」



人差し指・中指・薬指を上から下におろす。

②自然の川や水・水曜日を使う



掌を上に向け左から右へ波状に動かす。

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

